



さわやかニュース

市民自治の会さわやか生駒

発行責任者 堅田侑子

〒630-0258 生駒市仲之町2-21 島田ビル1F TEL/FAX 050-5005-8231

Vol. 56

発行 H25.7.26

※文中、敬称略・順不同

“飾りだけ”の『議会基本条例』にしないで！

『議会基本条例』は、市民の声を反映できる議会運営をどのようにして行うかを定める最高規範とも言われる議会の憲法です。だからこそ、この条例は市民の願いを形にできる議会改革の一端を担うものとしてつくられなければなりません！

しかしこの『議会基本条例(案)』に関するパブリックコメントの中でも「反問権」や「議会で請願者が発言できる機会」を願う市民の声が最も多く寄せられ、また市民からそれらを求める請願書が提出されたにもかかわらず、多くの議員の反対により6月本会議で「不採択」となりました。

議会改革特別委員会は、議会基本条例の「素案」を作成して解散しましたが、これによって十分成されたのが、疑問だけが残って不安でなりません。

※『パブリックコメント』⇒条例を制定する前の、市民の意見を聴取するためのインターネット、ファックスなどを使った「意見提出制度」のこと



すべて不採択！

＜請願書4件に対する各議員の表決行動＞

党派	議員名	請願①	請願②	請願③	請願④
		請願者が希望すれば議会での発言できる機会を付与	議員問討議	反問権	質問権
市民派クラブ	角田	×	○	○	○
	樋口(穂)	×	×	○	○
	山田(弘)	×	×	×	×
	古波	○	○	○	○
	西山	○	○	○	○
生活の党	有村	○	×	○	○
無党派	塩見	○	○	○	○
	伊木	○	×	○	○
	樋口(清)	×	×	×	×
	中浦	×	×	×	×
みんなの党	桑原	×	×	×	×
	山田(耕)	×	×	○	×
凜 翔	山田(正)	×	×	×	×
	井上	×	×	×	×
	白本	×	×	×	×
	吉村	×	×	×	×
公明党	下村	×	×	×	×
	恵比須	×	×	×	×
	成田	×	×	×	×
共産党	上原	×	×	×	×
	浜田	×	×	×	×
	竹内	×	×	×	×
賛成		5	4	8	7
反対		17	18	14	15

※議長(中谷議員)は議決に加わりません。

請願書	賛成意見	反対意見
<p>請願書① 請願者から申出があったときは、特段の理由がない限り、提出者(請願者)の意見を聴く機会を設けるものとする。</p>	<p>○議会だけの判断によらず、市民の意見を的確に把握する上で必要不可欠。</p>	<p>○請願者の希望だけで発言できるとなれば、単なるパフォーマンスの場として利用されることを危惧する。よって適正な議会運営を担う上で支障をきたすことが考えられる。</p>
<p>請願書② 議員相互の自由な討議により議論を尽くして合意形成を図り、結論を出すように努めるものとする。</p>	<p>○議員同士が自由に討議することで、建設的且つ活発な議論が期待できる。</p>	<p>○請願書の趣旨そのものは、議会から提示した基本条例素案の中に既に盛り込まれているので、必要ない。</p>
<p>請願書③ 市長等は、議員の質問に対して、その趣旨確認のための質問ならびに論点及び争点を明確にするための質問をすることができる。</p>	<p>○質の高い、建設的な議論が期待できる</p>	<p>○質問の範囲が不明瞭で運用が難しい。 ○質問の論点や争点を明確にするということであれば、このことはむしろ議員としての資質を高めるかどうかの問題である。</p>
<p>請願書④ 市長等は、議員又は委員会による条例の提案、議案の修正又は決議等に対して、質問をし又は意見を述べるべきである。</p>	<p>○これがなければ議会のみ意向だけで条例を制定することになりかねず、民主主義の根幹にかかわる重大な過失につながる懸念される。</p>	<p>○議案審査の前に市例との協議を終えておけば問題なく運用できるので、必要がない。</p>

透明性のある『議長選』を！

これまである特定の会派からのみ、議長が選出されてきました。今回またもや、かつてリコールの対象とされた元議長と同じ会派に所属していた議員が中心となって組織された、旧態依然たる「凛翔」から、議長が選ばれる結果となりました。

議長の権限はとても大きく、生駒のまちを良くしたいと願う市民からは、議長がどのようにして選出されたかが分かるような、何かよい方法はないものでしょうか。市民から見える、透明性の高い議会であってほしいと切に願います。

＜新役員の改選結果＞

- 議長 → 中谷尚敬議員（凛翔）
- 副議長 → 桑原義隆議員（無会派）
- 監査委員 → 山田正弘議員（凛翔）



『市立病院』～開院に向けて再入札～

東生駒駅前に平成27年3月開院予定で進んでいた生駒市立病院の入札が、不調に終わりました。3月議会で予算が承認され、今年の5～6月に建設工事が開始される予定でしたが応札業者がありませんでした。

入札不調の主な原因

- ・東日本大震災による建設業者の不足
- ・円安による建築資材（鉄筋、生コンなど）の高騰
- ・労務費単価の上昇

行政としては、将来さらなる値上がりの可能性もあり、早い補正予算を組むことにしました。前回より9億円近い上積み90.6億円を6月議会上程、25日の本会議で、賛成16、反対6で可決しました。

これにより入札が順調に推移すれば、当初計画より2～3ヶ月遅れの平成27年5～6月の開設の見込みです。

- 補正予算に反対した議員【6名】
山田正、井上、白本、吉村（凛翔）
樋口清、中浦（無会派）
- 補正予算に賛成した議員【16名】
角田、吉波、樋口稔、山田弘、西山（市民派クラブ）
有村（生活）、山田耕（みんな） 上原、浜田、竹内（共産）
下村、成田、恵比須（公明） 伊木、桑原、塩見（無会派）

「病児保育」が、ようやく実現

子育てのまち～生駒～



望まれて久しい「病児保育」が、ようやく実現の運びとなりました。病気回復期の児童を対象にした「病後児保育」は、生駒保育園内で既に開設されていましたが、回復期に至らない状態での保育受け入れの壁は厚いものがありました。本年4月、阪奈中央病院の小児科開設にともない、運営費等を市が助成することにより、「阪奈中央病児保育園」として、「病児保育」事業が実施されます。

また、市は保育所に対しても助成をしてきました。結果、平成19年から24年までに新設された民間保育所は5園、本年4月には更に3園（定員各100人）が新設され、待機児童解消に確実な成果をあげています。

このように、ニーズに合わせた保育サービスの充実が随所に見られ、「進化する生駒」を実感致します。 **子育てするなら生駒！！**

さわやか市民集会

- 日時 8月4日(日)13時30分～16時(開場 13時)
- 場所 生駒セイセイビル4F

- 第1部 「テーマ別意見交換会」
・議会基本条例 ・病院 ・子育て支援 他
- 第2部 「市政報告」 ～生駒市市長 山下真氏～

